



ノーベル賞受賞記念講演会 野依 良治 先生



平成30年11月30日(金),FFGホールで野依良治先生(2001年「キラル触媒による不斉反応の研究」でノーベル化学賞受賞)の講演会(主催:福岡女子大学・九州大学)が開催されました。

数理コミュニケーションコース1・2年生を含めて福岡県内の高校生・数百名と一般参加の皆様が来場し、華やかな雰囲気の中で講演が行われました。講演に引き続いて、高校生の代表者5名が登壇し、野依先生への質問を交えた懇談会が行われました。

本校生徒の代表で登壇した数理コミュニケーションコース2年生の栗田桃萌さんは、「講演の中で『研究者は良い問題を見つけて、正しく答える。』と伺いました。将来は日本を良い方向へ導ける問題を見つけられる人間になりたいです。」と、これからの生き方に大きな目標を見つけることができたようです。

平成30年度 第2回生徒課題研究発表会

平成30年12月7日(金)、本校体育館にて生徒課題研究発表会が開催され、県内外より大学・高等学校関係者及び本校生徒の保護者など、多数の方々にご参観いただきました。



今回の課題研究発表は、数理コミュニケーションコースの『SS科学探究Ⅱ』および科学系部活動から口頭発表3テーマ(物理・化学・生物各分野1テーマ)、ポスター発表19テーマ(物理分野7テーマ、化学分野7テーマ、生物分野4テーマ、数学分野1テーマ)、普通コースおよび英語科の『SS総合科学探究Ⅰ』からポスター発表88テーマ(人間・社会探究32テーマ、国際・語学探究10テーマ、自然・技術探究38テーマ、英語探究8)の出展がありました。今回は2年生の中間発表であり、今までの取組を来場された方に説明し、ディスカッションすることによって自らの課題を発見し、来夏に行われる最終発表会に向けて、今後の課題研究の方向性を見つけ出す、大切な発表会でした。



第33回福岡県高等学校総合文化祭 自然科学部門

ポスター発表：最優秀賞・口頭発表：優秀賞
 テーマ「流体摩擦の低減効果に関する研究」

第33回福岡県高等学校総合文化祭自然科学部門研究発表会(主催・高文連)では、今年も最優秀賞・優秀賞を受賞し、全国大会・九州大会への出場が決まりました。

自然科学部門 物理研究発表 九州大会出場決定!!

平成30年12月1日(土)、久留米工業大学で第33回福岡県高等学校総合文化祭自然科学部門研究発表会が開催され、物理・地学、化学、生物各部門別に口頭発表を行いました。

本校から物理部門に参加したチームが優秀賞を受賞し、2月に佐賀大学で開催される九州大会出場を決めました。



自然科学部門 ポスター発表 全国大会・九州大会出場決定!

平成30年12月15日(土)、福岡工業大学で第33回福岡県高等学校総合文化祭自然科学部門ポスター発表大会が開催され、物理部・流体班が**最優秀賞を受賞**し九州大会(2月)と全国大会(7月)の出場権を獲得しました。

今回は、福岡県内の各高校から物理、化学、生物、地学の4部門に計40チーム、本校からは物理、化学、生物の3部門に3チームが参加し、日頃の研究の成果を発表しました。午前中に部門別の予選が行われ上位2チームずつ、計8チームが選出され午後からの決勝審査に臨みました。



決勝に進出したチームの研究はレベルが高く接戦になりましたが、本校から出場したチームは各種発表会での経験を活かした発表を行い、審査委員からの質問にも的確な回答を行うことができました。

